

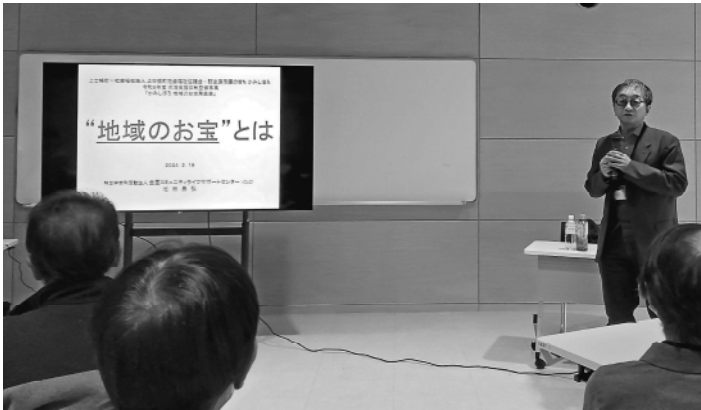
社協だより

No.316
2024.4.25

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 上士幌町社会福祉協議会

〒080-1408
上士幌町字上士幌東3線237番地 生涯学習センター内
TEL 01564-2-4688/FAX 01564-7-7004
<https://www.kamishihoro-shakyo.jp/>



かみしほろ 地域のお宝発表会 支え合う地域づくりのために

3月19日(火)、住民同士が普段行っている、気にかけてい・つながりづくりの取り組みを発表する「かみしほろ 地域のお宝発表会」を上士幌町、まちづくり会社、社会福祉協議会で開催し、40名の方々に参加いただきました。

また、生活支援コーディネーター2名より、上士幌町内の地域のお宝を6件紹介しました。知り合いの方々の活動が紹介されると会場内は賑やかに、その後の交流会でもとても話が弾んでいました。

【上士幌町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
小泉 彰宏】

令和6年能登半島地震災害義援金 ご協力ありがとうございます

上士幌町共同募金委員会 / 上士幌町社会福祉協議会

令和6年能登半島地震災害義援金に、善意のご協力をいただきました。ここに報告させていただき、あわせてお礼申し上げます。

＜ご協力いただいた団体＞

かあちゃんばあちゃん野菜市 様(設置募金箱)

3月13日(水)、「かあちゃんばあちゃん野菜市」が、ハレタかみしほろにてフリーマーケットを開催し、販売代金を義援金としてご寄付いただきました。



総額	33,262円
(令和6年4月8日現在)	

※ みなさまからご協力いただいた義援金は北海道共同募金会をつうじて被災地支援活動に活用されます。

ご寄付をありがとうございました

この度、次の方からたくさんのご寄付をいただき、厚くお礼申し上げます。

ボランティアセンターに寄せられる寄付金は、社会福祉協議会等民間で行う地域・在宅福祉活動の活動費として使われます。(ボランティアセンターへの寄付は所得税控除の対象となります。)

～上士幌町ボランティアセンター～

3月26日	国重 博志 様(7の1区) 社会福祉事業の推進に	7,500円
3月13日	かあちゃんばあちゃん 野菜市	プル 580g
3月22日	杉山 敏夫 様(10の2区)	プル 5kg



この社協だよりは共同募金(配分金)の一部で作成しました。

令和6年度社会福祉法人上士幌町社会福祉協議会の予算は、3月24日開催の第3回評議員会にて承認され事業開始しております。

下記のとおり事業計画・予算書(資金収支)を掲載いたしますので、令和6年度事業(2ページから5ページに掲載)実施にあたり、町民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

◀ 上士幌町社会福祉協議会事業計画 ▶

(1) 基本方針

今日の社会福祉を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化が進行し、人と人とのつながりの希薄化、家族のあり方の変化などに伴い、地域の課題や福祉ニーズはますます多様化、複雑化してきており、地域包括ケアシステムの強化、ケアラー支援、社会的孤立者や生活困窮者に対する支援の充実など、新たな課題に対応するための施策や仕組みづくりが求められています。

現在、国においては、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。また、市町村における包括的支援体制の構築を進めるため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくり」の3つの支援が柱となり支援を一体的に行う「重層的支援体制整備事業」実現に向けた取り組みを進めており、地域共生社会の実現に向けては、行政と社会福祉協議会とのパートナーシップを強化するとともに、今まで以上に福祉関係機関・団体等と連携・協働して、新たな事業の検討を含めて、社会福祉活動の推進に積極的に取り組んでいく必要があります。

当協議会は、「第6期上士幌町地域福祉実践計画」(令和3年度～令和7年度)に基づいて、「地域共生社会の実現に向け福祉でまちづくりをめざす」を基本目標に各種事業を実施してまいります。本年度も、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」ように進め、町民一人ひとりが主役となり、それぞれの地域で自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、ともに生きることのできる福祉のまちづくりを目指して取り組んでまいります。

(2) 令和6年度重点推進項目

昨年度は、新型コロナウイルスが感染症法の5類移行に伴い、以前の社会活動に戻りつつある社会状況となりました。しかし、引きこもり、虐待、特殊詐欺、高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となっています。こうした中で、隣近所での見守りや声かけ、日常生活のお手伝い、地域サロンなどの居場所づくり、自主防災組織など、地域でのつながりを大切にする地域支え合い活動の重要性が増してきています。

地域共生社会の実現に向けては、住民による主体的な活動を促進するとともに、行政や福祉関係機関・団体等が連携・協働しながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切です。そのためには、地域の課題や福祉ニーズの把握に努め、地域の社会資源(情報・人・場所など)へとつなぎ、地域での生活を支えるネットワークづくりが求められています。

当協議会は、地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーター並びに新たに福祉活動専門員を配置し、訪問・事業での聞き取りやアンケートなどにより、課題やニーズの把握に努めながら、住民の日常生活圏域(町内会)を小地域と位置付け、支え合いのまちづくりに向けて取り組んでまいります。

令和6年度は、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、「新生活スタイル」に対応した取り組みを検討しながら、社会活動がコロナ禍前に戻りつつある状況から、地域住民や地域の多様な主体が参画し、健康寿命や幸福度が増し、元気で長生きの生活習慣「きょういく(今日行くところがある)」「きょうよう(今日用事がある)」により、『集まる場』の創造を行い、人と人がつながる地域づくりの実現に向けて進めてまいります。

また、地域福祉を推進するための中心的組織にふさわしい社会福祉協議会の組織体制の確立と基盤の強化に努め、地域に理解され支持される社会福祉協議会づくりを目指してまいります。

以下、令和6年度重点推進項目として、次の事業を推進します。

- 1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- 2 ボランティア活動の推進
- 3 小地域ネットワーク事業の推進
- 4 支え合いのまちづくりに向けた事業の推進
- 5 権利擁護センターの中核機関への移行、法人後見の実施等とおし権利擁護の推進
- 6 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルによる災害時連携の推進

(3) 令和6年度事業計画

(事業費単位：千円)

1. 法人運営等事業 (本年度 4,672 : 前年度 4,471)		
① 社協運営の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社協活動推進のため、貴重な財源である会費について、会員加入促進と特別会員の増強に取り組み、運営基盤の強化を図る ○ WEB振込の活用を行い、振込手数料の軽減を図る ○ メールやLINE等の活用を行い、通信費の軽減を図る ○ ITの活用による事務の効率化を行い、事務経費の削減を図る 	4,672
② 関係機関・団体との連携強化	○ 行政担当課部局、上士幌福寿協会、サポートセンター白樺、生涯活躍のまちかみしほろ、民生委員児童委員協議会及び共同募金委員会等との連携強化を図る	
③ 会務の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理事会の開催(開催の定例化)年4回 5月(決算)、3月(予算)、9月、12月 ※上記のほか、必要に応じて臨時に開催 ○ 評議員会の開催 年2回 6月(決算)、3月(予算) ※上記のほか、必要に応じて臨時に開催 ○ 部会及び委員会の開催 事業に係る理事の役割分担、部会・委員会の活性化及び事業の充実を図る ○ 監査の実施 監事による監査…隔月実施(年7回)、会計事務所による指導・監査…毎月実施 ○ 正副会長会議の定例化(毎月第2月曜日予定) ※上記のほか、必要に応じて臨時に開催 	
④ 役職員の研修参加	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役員研修会の実施 ○ 道・十勝地区・上士幌町社協主催の研修会等への積極的参加 ○ 職員の計画的な研修参加による資質向上 	
⑤ 共同募金運動への協力	○ 共同募金・歳末たすけあい募金運動への積極的協力	
2. 共同募金配分金事業 (100 : 100)		
① 歳末たすけあい募金配分「生活困窮者支援事業」	○ 福祉資金の貸付に至らない生活困窮者を対象に、民生委員児童委員と連携して物資等の提供をセーフティネットとして行う	100
3. 地域福祉活動推進事業 (173 : 100)		
① 福祉関係者懇談会	○ 町内社会福祉法人、医療・福祉団体と地域福祉活動に係る懇談会を開催し、共通理解・認識を持つ	40
② 地域情報・ボランティア・災害時情報発信連絡調整事業(旧地域見守り安心メール配信事業)	○ 業務改善プラットフォームのkintone・plus(キントーン プラス)、届いたメールを複数人で共有できるMailwise(メールワイズ)を導入し、地域情報・ボランティア・災害時情報の連絡調整を視野に入れた情報発信を行う	133
③ 地域福祉実践計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第6期地域福祉実践計画について、令和5年度評価を踏まえて、行政及び関係機関・団体等と連携して推進 ○ 評価委員会を開催し、令和6年度評価(中間評価)を実施 	0
4. 広報活動事業 (851 : 972)		
① 社協だよりの発行	○ 社協だよりを発行し、地域・在宅福祉の理解と社協活動についての意識高揚及び啓蒙・啓発を図る	851
② ホームページの活用	○ 多くの町民にとって見やすくわかりやすい情報の提供を行うとともに、ホームページの充実を図る	
③ SNSの活用	○ 社協活動PRにFacebook等のSNS活用を行い、広く社協活動の理解を図る	
5. 厚生援護活動推進事業 (236 : 236)		
① 被災者見舞金の配分	○ 火災・災害被災者に見舞金を配分(執行時補正対応)	0
② 無縁仏供養祭	○ 無縁仏の供養を実施(静眠の碑・勢多地区共同墓地) 7月上旬実施	38
③ 会葬見舞セットの進呈	○ 町の町民課窓口で死亡届提出の際、遺族に進呈	198
④ 北海道フードバンク窓口連携事業との連携	○ 北海道フードバンク窓口連携事業と連携し、要生活支援(物資提供)の充実を図り、「生活困窮者支援事業」「福祉資金」「生活福祉資金」を活用し、生活困窮者の生活再建に向けた支援を行う	0
6. 児童・母子福祉事業 (81 : 81)		
① 福祉教育の推進	○ 児童・生徒に対する福祉教育の重要性について理解・推進する(狭義の福祉教育)とともに、町民全体に対する福祉教育(広義の福祉教育)の推進を図る	81
7. 障害者福祉事業 (475 : 475)		
① 在宅重度障がい者と家族のつどい	○ 障がいがある方とその家族が、安心して外出できる機会を提供し、交流を図る	79
② ふれあい広場	○ ノーマライゼーション及び地域共生社会の普及・啓発のため、関係機関団体と協働し実施する	396

8. 老人福祉事業 (828 : 861)		
① おひとりさま交流会 (旧ひとり暮らし高齢者親睦会)	○ひとり暮らし高齢者の外出と交流を図るとともに、中学生の協力により異世代交流及び福祉教育の実践の場としても有効な事業展開を行う。また、サークル・ボランティア団体の協力を図る	572
② 介護従事者・協力者の人材育成、 発掘の協力	○関係機関及び福祉事業者と連携し、新たな介護人材の育成・発掘を行う ・学生や町民の方々に、福祉や介護に関する問題意識や関心を持ってもらい、関係機関と連携し資格の有無に関わらず、新たな人材の育成・発掘・確保に協力する ・チームオレンジ、認知症サポーター養成研修、介護従事者初任者研修への協力	0
③ 介護者家族団体活動の支援	○介護者家族団体活動を支援するため活動費を助成(いっぶくしていく会) ○介護者に対する相談・支援を行い、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図る ・認知症カフェへの協力	30
④ ふれあい運動交流会 (旧おとしより・ 障がい者スポーツ大会)	○おとしよりや障がい者の方々が、誰でも参加できる競技により、交流と親睦を深める	226

9. ボランティア活動振興事業 (1,433 : 1,381)		
① ボランティア活動保険加入	○ボランティア活動の安全・補償のため、ボランティア活動保険助成	45
② ボランティア研修会参加助成	○ボランティアの資質向上のため、管内・全道ボランティア研修会等への参加経費助成	336
③ ボランティアスクール	○ボランティアの活動推進を目的に開催 ○シニアボランティアの活動推進	121
④ 空き缶回収クリーン作戦	○北海道クリーン作戦に協力し、町内の環境美化・清掃活動を実施	55
⑤ ボランティア需給調整	○ボランティアを希望する人と求める人との需給調整を実施 ○町介護支援ボランティアポイント制度の需給調整を実施	69
⑥ ボランティアセンター運営委員会	○ボランティア活動に参加できる体制の確立 ○地域におけるニーズやボランティア希望の把握 ○ボランティア団体等交流の場の開設 ○町内ボランティア活動推進のため、他市町村のボランティア活動推進について視察研修の実施	157
⑦ ボランティア団体活動助成	○ボランティア団体の活動費を助成し、活動の推進を支援(4団体)	200
⑧ ボランティア活動実践校助成	○ボランティア活動実践校の活動費を助成し、活動の推進を支援(町内全学校)	150
⑨ ワークキャンプ (夏・冬)	○中高生を対象とし、夏休みと冬休み中に特別養護老人ホーム及び認定こども園での体験学習を実施	25
⑩ ボランティアポイント事業 (町委託事業)	○ボランティア活動により地域社会へ参加することで、自らの介護予防や生きがい・やりがいにつながる事業として実施	155
⑪ 地域福祉リーダー (ボランティア活動 者) 資格取得助成	○地域福祉活動を推進していくための推進役となるリーダーの育成を図る。小地域福祉活動・サロン等を中心的(リーダー)に担える人材の育成を図るため、資格取得(ふまねつとやガンバルーン等)経費の助成をし、主体的に担える人材の確保及び研修会の実施	120

10. 在宅福祉サービス事業 (3,920 : 4,182)		
① ふれあい郵便	○ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消を目的とし、絵手紙サークルが作成したはがきの送付	38
② 要援護高齢者等訪問サービス	○ひとり暮らし高齢者の孤独感の解消、認知症高齢者の安否確認及び介護者負担軽減を目的として訪問活動を実施 ○新たなニーズの把握を行い、課題解決の対応を検討する	105
③ 福祉有償運送事業	○在宅重度障がい者・要介護者等の日常生活における通院や外出機会を確保することを目的に実施	1,806
④ ふれあいサロン	○閉じこもり高齢者解消のため、交流・外出機会の確保を行う ○出前サロンの実施及びサロン支援サポーター養成 ○ふまねつと運動等の推進 ○新規地域サロン開設の推進 ○新型コロナウイルス感染症拡大時、外出自粛に伴う社会参加・集う事が難しい状況下での、「新生活スタイル」における、孤立感・孤独感の解消や引きこもり予防の解決に向けた方法、取り組みを検討し、実施に向けて検討する	1,586
⑤ 生活支援サービス	○在宅で生活している要支援高齢者・障がい者の支援のため、登録ヘルパーの派遣をする とともに、新たなニーズ把握を行い、課題解決の対応を検討する	297
⑥ ふれあいオリンピック	○サロン活動及び小地域福祉活動を実施している団体・地域、老人クラブや子ども達が参加し、身体状況に大きく影響されずだれもが参加できるガンバルーンゲームやモルック、ポッチャ等を通して全町的な交流を行う	88

11. 小地域ネットワーク推進事業 (1,676 : 1,676)		
① 小地域ネットワーク活動助成	○小地域ネットワーク活動を推進するため、指定地域を設定し活動の助成を行う	704
② 小地域ネットワーク活動推進会議・ 研修会	○小地域ネットワーク活動推進のため、相互の情報収集と研修を行う ○町内会を単位とする小地域福祉活動実施のため、各町内会への働きかけを行う ○行政及び関係機関等と連携し、事業所の協力のもとに、見守る体制整備とネットワーク形成を図る ○自主防災組織の立上げ支援 ○災害時要援護者支援マップの作成支援	

③ 研修会参加助成	○ 小地域福祉活動推進のため、全道研修会等への参加助成 ○ 道東地区町内会研究大会への参加助成	
④ 小地域ネットワーク地域懇談会	○ 新規活動地域への働きかけ強化 ○ 地域懇談会の開催しニーズ把握・活動推進を行う	
⑤ 災害支援ネットワーク事業	○ 小地域ネットワーク活動を通じて、地域での防災活動を助長（地域防災研修会及び地域防災訓練の実施）し、自主防災組織の立上げ支援を行う ○ 地域防災研修の一環として、防災センターの視察研修（防災体験）の実施 ○ 災害時支援ボランティアの育成・登録 ○ 災害時要援護者支援マップの作成支援 ○ 要援護者情報の共有化に向けた検討・実施 ○ 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの更新を行う ○ 町との災害ボランティアセンター設置に関する協定に関し、詳細の調整、協議を行う	423
⑥ 地域福祉・生活支援コーディネーター配置事業（町委託事業）	○ 地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーターを配置し、小地域福祉活動の推進と活性化及び介護予防・日常生活支援総合事業の推進を図る ・住民主体活動の立ち上げ・運営支援 ・まちなか農園の実施 ・生活支援コーディネーター通信の作成、配布、掲示を行い、地域で行われている活動の見える化、活動の掘り起こし、周知を行う ・スマホ相談など、新たな情報伝達・収集、機器の利用促進への取り組み（「新生活スタイル」に向けた取り組み） ○ 地域支援活動や組織化活動からのニーズ把握を行う	549
⑦ 地域支え合い推進会議の運営協力	○ 地域包括支援センター及びまちづくり会社と協力し、地域支え合い推進会議の運営を通して多様な層の住民参画を促すとともに、つながり・支え合いのある地域づくりに貢献する ○ 地域包括ケア体制の構築 ○ 町内関係機関とのネットワークの強化	0

12. 福祉団体活動助成・支援事業（124：124）

① 福祉団体活動助成・協力、支援	○ 福祉団体の活動推進のため、活動費を助成（遺族会） ○ 福祉団体の活動への協力及び支援（母子寡婦会・遺族会・老人クラブ連合会他） ○ 福祉関係団体との意見交換会を実施し、課題やニーズの把握に努める	124
------------------	---	-----

13. 生活福祉資金貸付事業（240：270）

① 生活福祉資金貸付事務	○ 北海道社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付に係る相談及び貸付事務を行う	240
② 福祉資金貸付金（社協単独）	○ 低所得世帯への福祉資金の貸付	

14. 心配ごと相談所運営事業（58：58）

① 心配ごと相談所設置	○ 地域住民の相談及び援助活動に対応するために設置（毎月第3木曜日を基本に定例開設） ○ 相談から地域ニーズの把握を図る	58
-------------	---	----

15. 居宅介護支援事業（6,563：6,588）

① ケアプランセンター上士幌運営（介護保険事業・指定居宅介護支援事業）	○ 介護保険事業としてケアプランセンター上士幌を運営し、居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成を行う ○ 虐待事案に対する、関係機関との対応を行う ○ ケアラー（在宅介護者）支援を行い、介護者の身体的、精神的負担の軽減を図る ○ 権利擁護センターと連携し、日常生活の支援を行い長く在宅で生活ができるよう支援する ○ 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進 ○ 関係機関との情報共有手段として、町で導入した「バイタルリンク」を活用し情報共有を図る ○ 災害時の要介護者支援に関する体制の準備、協力	6,563
-------------------------------------	---	-------

16. 権利擁護成年後見事業（790：662）

① 日常生活自立支援事業（道社協委託事業）	○ 認知症や障がい等により判断能力に不安がある方が、地域において自立した生活を送れるようにするため、福祉サービスの利用手続きや援助、日常的な金銭管理等の支援を行う	38
② 成年後見（法人後見）事業	○ 社会福祉協議会が家庭裁判所より後見を受任し、被後見人の身上保護や財産管理等を行う ○ 市民後見人養成研修の修了者を法人後見支援員として登録・稼働 ○ 法人後見支援マニュアルの作成	126
③ 権利擁護センター運営（町委託事業）	○ 中核機関の設置 ・権利擁護全般に関する相談及び利用支援 ・権利擁護制度に関する広報及び啓発 ・成年後見制度利用促進機能、担い手の育成・活動支援、受任者調整の支援 ・後見人支援機能 専門職団体や家裁と情報を共有して、後見人を支援する ○ 高齢者虐待防止に関する事業 ○ 成年後見制度利用促進支援事業 ○ 判断能力が劣り支援が必要な方への地域支援の啓発 ・振り込め詐欺、消費者被害防止 ○ 日常生活自立支援、生活困窮者相談及び生活福祉資金相談等総合窓口として事業を実施 ○ 関係機関と連携し当事者の支援のみならず、ケアラー支援を行い、よりよい生活（well-being）を支援する	626

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	支	保険料支出	189,000	259,000	△ 70,000	
		賃借料支出	926,000	771,000	155,000	
		租税公課支出	72,000	56,000	16,000	
		諸会費支出	298,000	298,000	0	
		車輛費支出(事務)	292,000	214,000	78,000	
		車両燃料費支出(事務)	80,000	119,000	△ 39,000	
		雑支出	52,000	52,000	0	
		雑支出	52,000	52,000	0	
		貸付事業支出	140,000	170,000	△ 30,000	
		貸付金支出	140,000	170,000	△ 30,000	
		共同募金配分金事業費	100,000	100,000	0	
		一般募金配分金事業費	100,000	100,000	0	
		生活困窮者支援事業費	100,000	100,000	0	
		助成金支出	1,034,000	984,000	50,000	
		助成金支出	1,034,000	984,000	50,000	
		助成金支出	1,034,000	984,000	50,000	
	出	負担金支出	502,000	383,000	119,000	
		負担金支出	502,000	383,000	119,000	
	負担金支出	502,000	383,000	119,000		
	事業活動支出計(2)	60,668,000	59,624,000	1,044,000		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 4,118,000	△ 3,907,000	△ 211,000		
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)				
	支	固定資産取得支出	300,000		300,000	
	出	器具及び備品取得支出	300,000		300,000	
		施設整備等支出計(5)	300,000		300,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 300,000		△ 300,000		
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費支出(10)	300,000	300,000	0		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 4,718,000	△ 4,207,000	△ 511,000		
	前期末支払資金残高(12)	4,718,000	4,207,000	511,000		
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0		

理事会・評議員会結果報告

令和5年度第6回理事会を3月18日、令和5年度第3回評議員会を3月26日に開催し、下記の内容で承認されました。議決内容は以下のとおりです。

《第6回理事会》令和6年3月18日開催

- ◆ 第1号議案 経理規程の一部改定について
〈承認〉
- ◆ 第2号議案 職員給与規程の一部改定について
〈承認〉
- ◆ 第3号議案 準職員給与規程の一部改定について
〈承認〉
- ◆ 第4号議案 職員就業規則の一部改定について
〈承認〉
- ◆ 第5号議案 臨時職員就業規則の一部改定について
〈承認〉
- ◆ 第6号議案 移送サービス運転手賃金の改定について
〈承認〉
- ◆ 第7号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改定について
〈承認〉

- ◆ 第8号議案 評議員候補者の承認について
〈千田修平氏の退任に伴い、根本明則氏を評議員候補者として推薦する事を承認〉
- ◆ 第9号議案 評議員選任・解任委員会の開催について
〈3月21日開催。提案議案を承認〉
- ◆ 第10号議案 令和6年度事業計画(案)の承認について
〈承認〉
- ◆ 第11号議案 令和6年度収支予算(案)の承認について
〈承認〉
- ◆ 第12号議案 令和5年度第3回評議員会の招集について
〈3月26日開催。提案議案を承認〉

《第3回評議員会》令和6年3月26日開催

- ◆ 第1号議案 令和6年度事業計画(案)について
〈承認〉
- ◆ 第2号議案 令和6年度収支予算(案)について
〈承認〉

＝ 令和6年度 上士幌町社会福祉協議会拠点区分 資金収支予算書(当初予算) ＝

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		予 算 額 (A)	前年度予算額(B)	増 減 (A)-(B)	備 考	
事業活動による収入	会費収入	1,040,000	1,040,000	0		
	一般会費収入	510,000	510,000	0		
	特別会費収入	530,000	530,000	0		
	寄附金収入	800,000	800,000	0		
	寄附金収入	800,000	800,000	0		
	経常経費補助金収入	33,695,000	33,788,000	△ 93,000		
	市区町村補助金収入	30,662,000	30,807,000	△ 145,000		
	市区町村補助金収入	30,662,000	30,807,000	△ 145,000		
	補助金収入	1,372,000	1,384,000	△ 12,000		
	道社協補助金収入	1,372,000	1,384,000	△ 12,000		
	共同募金配分金収入	1,661,000	1,597,000	64,000		
	一般募金配分金収入	1,561,000	1,497,000	64,000		
	生活困窮者支援事業収入	100,000	100,000	0		
	受託金収入	14,304,000	13,808,000	496,000		
	市区町村受託金収入	14,304,000	13,808,000	496,000		
	市区町村受託金収入	14,304,000	13,808,000	496,000		
	貸付事業収入	50,000	74,000	△ 24,000		
	償還金収入	50,000	74,000	△ 24,000		
	事業収入	1,210,000	1,210,000	0		
	利用料収入	610,000	610,000	0		
	成年後見制度事業収入	600,000	600,000	0		
	介護保険事業収入	5,377,000	4,843,000	534,000		
	居宅介護料収入	5,377,000	4,843,000	534,000		
	(介護報酬収入)	5,377,000	4,843,000	534,000		
	介護報酬収入	5,377,000	4,843,000	534,000		
	受取利息配当金収入	4,000	4,000	0		
	その他の収入	70,000	150,000	△ 80,000		
	雑収入	70,000	150,000	△ 80,000		
	雑収入	70,000	150,000	△ 80,000		
	事業活動収入計(1)	56,550,000	55,717,000	833,000		
	事業活動による支出	人件費支出	46,077,000	44,978,000	1,099,000	
		職員給料支出	27,800,000	27,515,000	285,000	
職員賞与支出		8,353,000	8,052,000	301,000		
非常勤職員給与支出		1,709,000	1,640,000	69,000		
退職給付支出		2,374,000	2,036,000	338,000		
法定福利費支出		5,841,000	5,735,000	106,000		
事業費支出		8,177,000	8,570,000	△ 393,000		
消耗器具備品費支出		1,819,000	1,816,000	3,000		
賃借料支出		368,000	417,000	△ 49,000		
車輛費支出		330,000	619,000	△ 289,000		
車輛燃料費支出		630,000	644,000	△ 14,000		
諸謝金支出		582,000	572,000	10,000		
旅費交通費支出		1,314,000	1,276,000	38,000		
印刷製本費支出		952,000	952,000	0		
通信運搬費支出		535,000	484,000	51,000		
業務委託費支出		251,000	372,000	△ 121,000		
保守料支出		106,000	124,000	△ 18,000		
手数料支出		184,000	173,000	11,000		
損害保険料支出		577,000	550,000	27,000		
租税公課支出		66,000	108,000	△ 42,000		
雑支出		463,000	463,000	0		
事務費支出		4,638,000	4,439,000	199,000		
福利厚生費支出		164,000	161,000	3,000		
旅費交通費支出		1,150,000	1,150,000	0		
事務消耗品費支出		165,000	165,000	0		
印刷製本費支出	168,000	127,000	41,000			
通信運搬費支出	333,000	333,000	0			
会議費支出	44,000	44,000	0			
業務委託費支出	660,000	660,000	0			
業務委託費支出	660,000	660,000	0			
手数料支出	45,000	30,000	15,000			

美しい街並みのために！
クリーンアップボランティア **空き缶回収クリーン作戦 5月11日(土)実施**

市街地を中心とした清掃活動を実施します。

町と社会福祉協議会では、クリーンアップボランティアとして参加して下さる方を募集しております。



集合時間

午前8時30分 集合
(午前10時頃に終了予定)

※ 雨天の場合は中止といたします。
(前日までに決定)

集合場所

- ① 道の駅かみしほろ西側駐車場
(ホクレンスタンド～東3線37号に向かって回収)
- ② 上士幌小学校南側空き地(はげあん診療所東側)
(遍照寺～航空公園に向かって回収)

今年度もバスは利用せずに、徒歩による作業となります。

※ 駐車スペースが少ないため、集合場所がご自宅から近い方は、自転車または徒歩で集合していただくようお願いいたします。

- ◎ 軍手かゴム手袋を各自でご持参ください。
- ※ 尖ばさみが必要な方はご持参ください。

申込み先

上士幌町役場 町民課 (Tel 2-4294)

上士幌町社会福祉協議会 (Tel 2-4688)

4月30日(火)までに、お申込みください。
(定員40名程度)

※ 申込み時に希望する集合場所をお伝えください。

上士幌町SDGsポイント対象メニュー

当日、ご参加いただいた方には、バルーンカード、もしくはバルーンスタンプアプリに50ポイントを進呈いたします。

ご入学おめでとうございます



老人クラブ連合会女性部(浅野美代子女性部長)は、上士幌小学校(山田圭介校長)の新一年生へ入学のお祝いにと、手製の巾着袋をプレゼントしました。



新しい職員を紹介します！

4月1日から社会福祉協議会に、福祉活動専門員として信太優希さんが採用となりました。

「地元は十勝ですが、上士幌に住むのは初めてなので、この仕事を通じて、この町のことを知りたいです。」

令和6年度 心配ごと相談・行政相談

社会福祉協議会では、今年度も心配ごと相談・行政相談所を開設いたします。社会福祉や生活問題、苦情等を下記相談員がご相談に応じ、解決にむけての支援を行います。

尚、相談は無料で、相談内容に関することは守秘義務により守られますので、安心してご相談ください。

開催日以外でも、いつでもご利用できるよう、お電話でのご相談も対応いたします。

《心配ごと相談員》馬場美子(15区 ☎2-2904)
野中美尾(302区 ☎2-2146)
岩佐三鈴(2区 ☎2-4513)
浜名里美(1区 ☎2-3594)
鈴木文義(9区 ☎2-3642)

《行政相談員》佐藤由美子(1区 ☎2-2603)

【場 所】生涯学習センター2F
社会福祉協議会 相談室

【時 間】13:30～15:00頃迄

【開催日】毎月第3木曜日

5月16日(木)	6月20日(木)
7月18日(木)	8月22日(木)
9月19日(木)	10月17日(木)
11月21日(木)	12月19日(木)
1月16日(木)	2月20日(木)
3月19日(水)	

※ 8月はお盆時期と重なるため1週遅れ
※ 3月は春分の日と重なるため1日繰り上げ

＜お問合せ＞ 上士幌町社会福祉協議会 ☎2-4688